

地本業務ニュース

JR 東海労・静岡地方本部

NO.8 2013年4月25日発行者：JR 東海労静岡地方本部 山本繁明

「平成 25 年度要員計画」について、業務委員会開催！！

4月25日、地本は業務委員会を開催し会社から平成25年度要員計画の説明を受け、議論しました。内容は、以下のとおりです。

平成 25 年 4 月 24 日
静 岡 支 社

平成 25 年度要員計画について

1. 平成 25 年度初要員数

	駅	運輸	工務	その他	出向	新採者	合計
基準人員	550	760	440	310	—	—	2,070
社員数	680	860	460	360	230	60	2,660

*車両は運輸に含み、その他は非現業を示す。

*社員数には専任社員を含み、出向受け社員は含まない。

*端数処理の関係で、合計は各項目の合計値とは一致していない。

平成 25 年度要員計画

(1) システム化・省力化等

非現業部門における業務運営体制の見直し H25 定期異動日 (-19)

(2) 関連会社等の能力の活用

現時点における計画なし。

(3) 出稿計画

① 54才に達した日以降の出向

各系統とも要員需給等を踏まえて54才以上の社員を対象として実施する。

出向予定数・・・約 20 人

- ② 上記以外の出向
必要に応じ個別に実施する。

(4) 採用及び退職

① 採用実績

	高校卒					短大・専門学校卒		合計
	運輸	車両	施設	電気	小計	運輸	電気	
平成 24 年度	4 9	2	4	6	6 1	3	2	6 6
平成 25 年度	5 0	2	3	6	6 1	0	0	6 1

- ② 平成 24 年度退職実績
定年退職・・・29 人
その他退職・・・19 人

③ 専任社員

平成 24 年度初専任社員数・・・218 人(うち出向 117 人)
平成 25 年度初専任社員数・・・171 人(うち出向 83 人)

(5) 乗務員養成

① 養成計画数

運転士・・・約 40 人
車 掌・・・約 50 人

② 養成時期

平成 25 年 5 月中旬以降順次

(6) 乗務員から駅への移動

① 異動計画数・・・約 20 人

異動時期・・・平成 25 年 12 月(予定)

組合：運輸とその他の基準人員が昨年より 10 人減となっているが、
リニアが関係しているのか？

会社：リニアは関係していない。乗務員区の臨時列車の要員を見直した
ものである。また非現業（その他）はプロジェクトの終了と
業務の進捗状況の結果である。これに対しての社員の増減はな
い。

組合：定年退職者の数が減っているが、年齢構成の影響か？

会社：そのとおりである。

組合：出向予定数が10人から20人に増加しているのは？

会社：あくまでも予定計画数であるが、非現業部門における業務体制の見直しによるものである。

組合：専任社員の昨年実績を明らかにすること。

会社：系統別に具体的な数字は明らかにする考えはないが、概ね75%である。

組合：非現業部門のマイナス19だが、当事者を現業に戻すのか？

会社：適材適所に、配置していく。

組合：乗務員養成の昨年実績は？

会社：運転士40人、車掌70人でほぼ計画通りである。

組合：今年度の車掌養成が20人少ないが？

会社：平成22年度に10人前倒すなどの影響である。今後は、需給状況を踏まえながら計画していく。

組合：今年度は、短大及び専門学校卒の採用がゼロだが？

会社：専門学校卒電気系統の採用を全社的に中止した。プロ大・高専の採用で賄う。運輸においては静岡支社だけが今年度より中止する。短大採用は中止していないが、今回は内定に至る人材が無かった。

組合：駅から乗務員の移動は、今後も計画にあるのか？又、本人の希望が無くても実施するのか？

会社：今後も予定している。本人の適性及び運用希望を総合的に勘案し、面談も行っている。最終的には会社が判断する。本人の希望どおりとはならない場合もある。

組合：会社も年金制度は承知しているとは思いますが、専任社員が現在の乗務員行路を乗務するのは、個人差があるとはいえ肉体的にも精神的にも苦痛を伴う。専任社員行路を作る考えは無いのか？

会社：いまのところ、そのような考えは無い。

組合：現在の各運輸区の要員状況を見ると富士運輸区だけが非常に厳しい。また、運用指令や駅への異動も多いと思うが？

会社：乗務員養成の問題、年齢構成などのバランスを考慮すると難しい状況にある。

組合：富士運輸区の要員不足は、今始まったものではない。他の運輸区の要員と比較すると、不公平感を持たざるを得ない。いずれにしても特休の買上げをなくし、年間 20 日の年休が確実に取れる要員配置をするべきである。

会社：業務に必要な人員は確保しているが、今後は要員配置について検討していく。

以上